



いいづな事業チャレンジ 開催報告書

いいづなフューチャースクール(飯綱町)/公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト
2021/2/16

みなさまにおかれましてはますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

去る2月7日に、「いづな事業チャレンジ」を大盛況のうちに終えることができました。

ご参加いただいた皆様、またご尽力いただいた皆様、多大なご支援を賜り誠にありがとうございました。

飯綱町をよくしたいと集結した、チャレンジャー含めた発表者、参加者、裏方全員が素敵な表情であったことが印象的でした。

またコロナ禍での対応もスムーズに進めることができ、感染予防に努めました。

今後もチャレンジャー6名に対して1年間サポートをして参ります。軌道に乗るまで伴走していきます。

今後とも地方創生を目指す地域起業家や地域のワカモノの発表の場を提供し、彼らの地方創生事業の「スイッチ」を入れる機運醸成を行っていきます。

私たちのミッションである「地域起業家が人気業種となり、地方創生事業が各地域で成功する」実現のため、これからも全力で進めてまいります。

これからもどうぞ、みなさまのご支援賜りますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。



令和3年2月吉日

いづな事業チャレンジ プロデューサー
公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト 代表理事
中川直洋

いいづな事業チャレンジとは

いいづな事業チャレンジとは

起業などの新事業の創出をサポートする町のプログラムです。地域の未来を活性化するため、さまざまな取り組みが行われています。当日は選りすぐりのプレゼンターたちが、新しい事業プランを飯綱町の皆様の前で発表します。発表された事業プランは、地域の企業や観客の皆様に応援表明していただいた上で、最終的に審査員の審査を受けてグランプリや準グランプリが選ばれます。受賞者には、チャレンジ支援金や事業のサポートの授与が予定されています。



開催概要

「いいづな事業チャレンジ」

■日時:2021年2月7日(日)13:00~16:00(開場12:30)

■会場:飯綱町民会館(長野上水内郡飯綱町大字牟礼1989)

■参加費:無料

■主催:いいづなフューチャースクール(飯綱町)

/公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

■協力:飯綱町商工会/(株)カンマッセいいづな/(株)サンクゼール/長野信用金庫/(株)八十二銀行/(株)アバンティ/飯綱高原観光開発(株)/(有)飯綱町ふるさと振興公社/(株)ツチクラ住建/長野国際カントリークラブ/ながの農業協同組合飯綱支所/(株)シンカ/凸版印刷(株)/レオス・キャピタルワークス(株)/(株)カヤック/ヤマサ醤油(株)/(株)ゴーゴーカレーグループ/(株)レイメイ藤井/Hamee(株)/(株)大和システムクリエート/NIPPON IT チャリティ駆伝/(株)アイサイト/(株)エイジア/(株)クレオ

■チャレンジャー:

玉井勝浩さん/荒木淳也さん/阪本チヒロさん/藤村嘉宏さん

/荻原夏子さん/伊藤史雄さん

■審査員(コメンテーター):

山田保和氏(株式会社サンクゼール常務取締役)/渡邊智恵子氏(公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト株式会社アバンティ代表取締役)/峯村勝盛氏(飯綱町長)/新村雄太氏(株式会社 八十二銀行 調査役)/下平満範氏(長野信用金庫主任調査役)

■司会:

沢井美和さん/仲木威雄(公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト)

■発表者(今年のチャレンジャー)

田中洋満さん/鈴木直子さん/外谷淳弥さん/松木靖さん

/藤原奈緒美さん/瀬戸山匠さん

■高校生発表者

北部高校2年生 岡村光輝さん 大山真広さん



事前セミナー



いろいろな事業計画ゼミ

「いろいろな事業チャレンジ」にチャレンジャーとして選ばれた6名に対して、事前セミナーとして「いろいろな事業計画ゼミ」を開催しました。

チャレンジャーはセミナーやワークを通して自分がやりたいことを、ビジネスの形にすることを目指し参加しました。ジャパンチャレンジャープロジェクトの中川、町井、その他スタッフ交えて、個別にそれぞれの内容についての質問やアドバイスなどを重ねて、ターゲットとなる顧客に、どのような価値を提供できるのかなど、討議を重ねました。

■日時: 2020年12月12日(土)、13日(日)
10:30-17:00

■会場: いづなEASTコネクチャレンジラボ

■参加者:

【チャレンジャー】

- ・玉井勝浩さん
- ・荒木淳也さん
- ・阪本チヒロさん
- ・藤村嘉宏さん
- ・荻原夏子さん
- ・伊藤史雄さん

【講師】中川直洋、町井則雄

【コーディネーター】吉村祐子

選出されたチャレンジャー6名が「いづな事業チャレンジ」にて事業プレゼンを行いました。その様子を一人ずつご紹介してまいります。



「ホビット村に見えた飯綱町でぴらていピラティス×空間ファンタジー」

藤村 嘉宏さん

飯綱町の親子を対象にピラティスを提供し、親子が集まる場所を提供したいというプランを発表されました。

審査員からは、親子以外にも高齢者の方への提供も考えてみてはどうかという意見もあがり、藤村さんはピラティスを通して飯綱町にコミュニティを作りたいとお話されました。



「紙工房 職人主婦的な生き方」

荻原 夏子さん

荻原さんは和紙の魅力に惹かれ、人生の半分を和紙と共に生きてきたと話します。

飯綱の町で和紙作りを一から経験できる場所をつくり、飯綱産の和紙をお酒のラベルなどに活用したいとお話されました。

審査員の株式会社サンクゼール常務取締役の山田氏は、「和紙が飯綱でも作れるのは驚きです」とお話されていました。

選出されたチャレンジャー6名が「いいづな事業チャレンジ」にて事業プレゼンを行いました。その様子を一人ずつご紹介してまいります。



「集まれ！農業未来プロジェクト」

伊藤 史雄さん

伊藤さんは農業家の高齢化問題、後継者問題、耕作放棄地問題を解決しリンゴの町飯綱を守りたいというプランを発表されました。ワーキングホリデーの導入や、移住就農支援もしたいとのことでした。最終的には5haという面積の農地を耕作したいと意気込みました。司会の仲木さんから「結構広いけれど実現できそうですか？」と聞かれ「頑張ります」と意気込みを伝えました。



「馬とつながる、人とつながる 馬に学ぶマネジメント研修」

阪本 チヒロさん

阪本さんは二年前にも「馬とホップ」というプランで登壇し、今回は2回目の発表です。馬とコミュニケーションをとることで会社の社員のリーダーシップ研修を行うというプランです。司会の沢井さんからは、馬を引いたことがあるが、なかなかついてきてくれない経験がありますと話し、阪本さんは「馬は手綱を引く人をリーダーだと認識しないとついてきてくれない。これをリーダーシップ研修に活かしたい」と話しました。

チャレンジャー(グランプリ・準グランプリ)

いづな事業チャレンジに集まったチャレンジャーの中から、荒木淳也さんがグランプリ、玉井勝弘さんが準グランプリに選ばれました。



「地主とソロキャンパーをつなぎ、山を元気に！『あの山、この山、プロジェクト』」 荒木 淳也さん

荒木さんのプランは、名前もついていない小さな面積の山林が管理されない問題に対して、ソロキャンパーを呼び、山林を貸し出すというプランです。
審査員からは山林の問題は全国が抱える問題であり、大変重要だと賞賛の声があがりました。



「家族経営ワイナリーの設立～飯綱をワインの町に！～」 玉井 勝弘さん

玉井さんはワインの魅力に惹かれ、家族で経営するワイナリーを作りたいと発表しました。飯綱町はぶどうの栽培に適した地であると語りました。
審査員からは、決して派手なプランではないが手堅く着実に進めようとしている姿勢が素敵であると話していました。





審査員

ビジネス界の最先端を走る5名の審査員の皆さんがチャレンジャーの事業プランに対してコメントをしました。

- ・山田保和氏(株式会社サンクゼール常務取締役)
- ・渡邊智恵子氏(株式会社アバンティ代表取締役)
- ・峯村勝盛氏(飯綱町長)
- ・新村雄太氏(株式会社 八十二銀行 調査役)
- ・下平満範氏(長野信用金庫主任調査役)



投票

審査員のみなさんの点数と、会場にお越しになった参加者のみなさんからの投票を合算しグランプリと準グランプリを決定しました。

審査基準

TOPPAN

| | |
|---------|--|
| 想い・意志 | 事業・サービスを実行したいという強い思い・意志が感じられる。 - 事業・サービスの実行に向けた具体的な計画がある。 - 社会課題を解決する社会的意義・貢献が感じられる。 |
| 実現性 | 半年以内に、事業・サービスを開始できると感じられるモデルである。 - 事業・サービスの実行に向けた具体的な計画がある。 - 経営計画が明確で、一歩も二歩も進んでいる状態である。 |
| 市場の拡張性 | 事業・サービスの市場がある。かつ市場が広がる可能性を感じられる。 - 市場規模が大きいこと、成長性が高いこと、競合が少ないこと、などが挙げられる。 - 将来的に市場が拡大していくことが期待できる。 |
| 競争優位性 | 他社と競争する必要がある。または競争に勝てる優位性が感じられる。 - 他社と競争する必要があること、競合が少ないこと、などが挙げられる。 - 独自の強みや差別化要因があること、などが挙げられる。 |
| 持続可能性 | 継続して実行していけると感じられる。事業・サービスのモデルである。 - 事業・サービスの実行に向けた具体的な計画がある。 - 事業・サービスの実行に向けた具体的な計画がある。 |
| 地域への貢献性 | 事業・サービスの内容が、地域の生活や経済の役に立つと感じられる。 - 地域課題を解決すること、地域活性化に貢献すること、などが挙げられる。 - 地域住民や関係機関との連携が感じられる。 |

スペシャルプログラム

今年は、昨年緒チャレンジャー全員が昨年からの活動報告、東京証券取引所と開催する企画「起業体験プログラム」に参加された高校生も事業プランの発表しました。昨年のチャレンジャーは皆さんコロナの影響で事業の推進にてこずりながらも、着実に事業を進められていました。今回発表した北部高校の高校生は実際にリンゴのジャムを使ったタルトや、ケーキを作り販売し、株式会社同様にその売り上げを株主に返すという体験をした経験を伝えました。昨年のチャレンジャーも高校生も飯綱町を盛り上げようと取り組まれた様子に審査員も会場に参加されたみなさんも集中して発表を聞いていました。

高校生発表者

■北部高校

・2年生 岡村光輝さん、大山真広さん



昨年のチャレンジャー

- ・藤原奈緒美
- ・田中 洋満
- ・鈴木 直子
- ・外谷 淳弥
- ・松木 靖
- ・藤原 奈緒美
- ・瀬戸山 匠



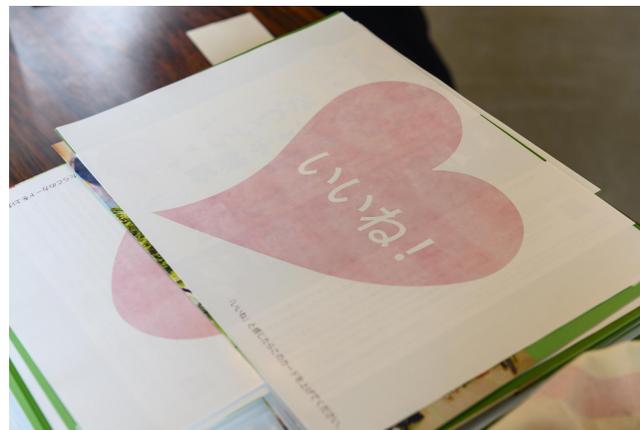
司会と参加者



今回の司会者は昨年に引き続きアナウンサーの 沢井美和 さん/公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクトの仲木威雄でした。



参加者の皆さんは、チャレンジャーの事業プランを聞いて、応援したいと思えば「いいねカード」を、サポーター（協賛）のみなさんは「起業名プラカード」を挙げました。観覧者も参加型のイベントになるよう工夫をしました。コロナ対策として席をあけ、オンライン配信も行いました。



写真(セミナー)



スペシャルプログラム

プロデューサー・音響
町井則雄(株式会社シンカ・公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト)

吉村祐子(凸版印刷株式会社)

チーフディレクター
松井大介(公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト)

ディレクター(公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト)
奥川季花/中井彩子/東田一起/大浦佐和/樽本理子

凸版印刷株式会社
大野仁士/河野奈々子/山岸彩/小出麻由

株式会社カンマッセいいづな
土倉武幸/吉川剛史/佐久間崇/

飯綱町
土屋龍彦/西澤豊/高森雄一/笠井竜介/

カメラマン
阿部宣彦/服部久志/竹節友樹/関亮太

総合プロデューサー・総合演出・音楽
中川直洋(公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト)

飯綱町

主催
いづなフューチャースクール(飯綱町)
公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

